

-特別調査「平成23年の経営見通し」

問1. 貴社では、平成23年の日本の景気をどのように見通していますか。次の中から1つ選んでお答え下さい。

	非常に良い	良い	やや良い	普通	やや悪い	悪い	非常に悪い
合計(構成比)	0.0	0.0	0.6	9.5	33.0	42.4	14.5
合計件数	0	0	1	17	59	76	26
製造	0	0	1	5	9	20	5
建設	0	0	0	5	12	25	4
卸売	0	0	0	0	5	3	0
小売	0	0	0	6	22	17	9
サービス	0	0	0	1	11	11	8

*平成23年の我が国の景気見通しについては、「良い」(「非常に良い」・「良い」・「やや良い」の合計)と回答する割合が0.6%、「悪い」(「やや悪い」・「悪い」・「非常に悪い」の合計)が89.9%となった。「良い」-「悪い」は△89.3と、1年前の調査(△89.4)とほぼ横ばいの数値。依然として景気の見通しは厳しいとの回答が大勢を占めた。

問2. 貴社では、平成23年の貴社の業況(景気)をどのように見通していますか。次の中から1つ選んでお答え下さい。

	非常に良い	良い	やや良い	普通	やや悪い	悪い	非常に悪い
合計(構成比)	0.0	0.0	3.4	20.7	35.7	31.3	8.9
合計件数	0	0	6	37	64	56	16
製造	0	0	5	12	11	12	0
建設	0	0	1	5	16	19	5
卸売	0	0	0	0	6	1	1
小売	0	0	0	14	18	15	7
サービス	0	0	0	6	13	9	3

*平成23年の自社の業況見通しについては、「良い」と回答する割合が3.4%、「悪い」が75.9%となった。「良い」-「悪い」は△72.5と、1年前の調査(△78.3)に比べ5.8ポイントの上昇となったが、景気見通し同様、全体として厳しい状況が続いている。

問3. 平成23年において貴社の売上額の伸び率は、平成22年に比べておおよそどのくらいになると見通していますか。次の中から1つ選んでお答え下さい。

	30%以上の増加	20~29%の増加	10~19%の増加	10%未満の増加	変わらない	10%未満の減少	10~19%の減少	20~29%の減少	30%以上の減少
合計(構成比)	0.6	0.6	1.7	8.4	24.6	35.1	19.0	5.0	5.0
合計件数	1	1	3	15	44	63	34	9	9
製造	0	0	2	5	16	8	8	1	0
建設	1	0	0	4	7	13	12	4	5
卸売	0	0	0	0	0	7	1	0	0
小売	0	1	1	5	14	22	6	1	4
サービス	0	0	0	1	7	13	7	3	0

*平成23年の自社の売上額見通しについては、「増加」と回答する割合が11.3%、「減少」が64.1%となった。「増加」-「減少」は△52.8と、1年前の調査(△51.7)に比べ1.1ポイント低下、状況は昨年同様の厳しい見通しとなっている。

問4. 貴社では、自社の業況が上向き転換点をいつ頃になると見通していますか。次の中から1つ選んでお答え下さい。

	すでに上向いている	6か月以内	1年後	2年後	3年後	3年超	業況改善の見通しは立たない
合計(構成比)	1.7	4.5	11.7	14.0	8.9	9.5	49.7
合計件数	3	8	21	25	16	17	89
製造	1	3	7	7	5	1	16
建設	1	2	4	9	4	6	20
卸売	0	1	0	0	2	1	4
小売	1	2	4	6	2	7	32
サービス	0	0	6	3	3	2	17

*自社の業況が上向き転換点については、「すでに上向いている」とする回答割合が1.7%と、1年前の調査(3.3%)に比べ1.6ポイント低下した。一方、「業況改善の見通しは立たない」とする企業割合は49.7%と、1年前の調査(39.4%)から10.3ポイント上昇した。

問5. 昨今の円高によって、貴社ではどのような影響を受けていますか。「いい影響のほうが大きい」という方は、その具体的な影響について1～4の中から、「悪い影響のほうが大きい」という方は、その具体的な影響について5～9の中から、1つ選んでお答えください。なお、「円高による影響はない」という方は0を選択してください。

(複数回答)

	いい影響の方が大きい				悪い影響の方が大きい					影響はない
	仕入価格の低下	売上の増加	海外展開へのハードルが低下	その他	取引先の海外進出を受けて受注が減少	輸出品の採算悪化・競争力低下	輸入品増加による競争激化	取引先の業況悪化による間接的な影響	その他	
合計(構成比)	4.4	0.6	0.6	0.0	0.0	0.0	2.8	16.2	5.0	70.4
合計件数	8	1	1	0	0	0	5	29	9	126
製造	0	1	0	0	0	0	3	9	3	24
建設	0	0	0	0	0	0	0	5	3	38
卸売	0	0	0	0	0	0	0	3	0	5
小売	5	0	1	0	0	0	2	7	3	36
サービス	3	0	0	0	0	0	0	5	0	23

*円高による「悪い影響の方が大きい」とする回答割合が「いい影響の方が大きい」とする回答割合を、18.4ポイント上回った。また「影響はない」とする回答は70.4%あった。

～調査員のコメントから～

- ネット販売等は好調で、本州方面からの注文も増えてきている。(製造業)
- 若年層向け洋菓子の製品開発努力をしているが、コンビニの菓子類もかなり充実しており売上やや減少している。(製造業)
- 売上、収益共に年々減少しており、危機感は強まる一方である。技術力を高め販路拡大目指す。(建設業)
- 官庁工事や一般住宅の工事受注が減少傾向にあり、同業者間の競争が激化。遊休不動産の有効活用を図っていきたいと考えている。(建設業)
- 年間で一番稼ぐこの時期に、仕入価格上昇により利幅少なく収益も減少した。主に小売業者に箱売り販売しているが、個人にも販売するよう小口注文も加えた。(卸売業)
- 流行、気候に左右される為、仕入在庫の管理が経営上の問題点。(小売業)
- お歳暮ギフト売上年々減少傾向、前年よりお客さんの収入も減収気味となっており、売上の低迷が続いている。(小売業)
- 美容部門は新規の客少なく固定客での売上なので、年次減少傾向にある。婚礼部門は低予算での婚礼が多くなっており年々減少傾向。(サービス業)